



がんばろう！東北

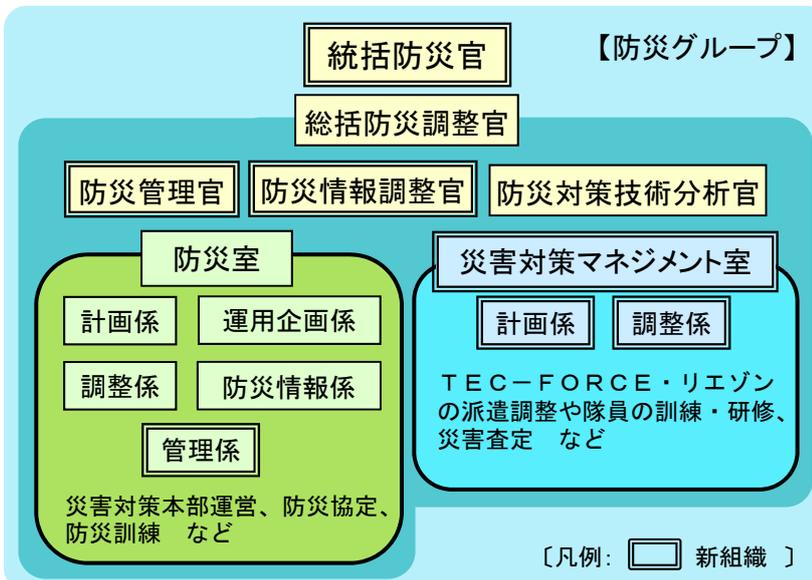
防災室・災害対策マネジメント室〔防災グループ〕が 新設されました。

東北地方整備局 統括防災官

平成31年4月1日付けで、企画部防災課が企画部から独立し、整備局長直属の防災専属組織として防災室及び災害対策マネジメント室という新たな2つの室が新設されました。

東日本大震災を経験した東北は大規模災害への対応力や備えについての知見があります。これまで培ってきた経験値を継承していくことは当然のことながら、道路や河川など国交省所管施設に加え、山火事や火山噴火、鳥インフルエンザなど対応すべき災害の守備範囲が広がってきていることから、地域からの信頼・期待に応えるべく、危機対応力・防災力のさらなる向上をはかります。

防災グループは、災害対策本部運営をはじめ各関係機関との防災協定の締結や防災訓練の実施などを担当する『防災室』、TEC-FORCE・リエゾンの派遣調整から隊員の研修・訓練と災害査定などを担当する『災害対策マネジメント室』、官ポストを含めた総勢約20人で構成されています。それぞれの持ち場・立場においてチームワークを大切に業務を遂行します。



近年、地球温暖化がもたらす気象災害の激甚化・頻発化、さらに、首都直下や南海トラフなど切迫する巨大地震等自然災害からの国民の安全・安心の確保、防災・減災、国土強靱化に資する災害に強いインフラ整備が着々と進められています。

一方で、自然災害はインフラ整備だけでは対応しきれないため、自助・共助といった減災の思想も重要になると考えていることから、大学や各種機関などと連携しながら防災教育や新技術・新資機材の導入などにも積極的に取り組みます。

災害が発生した際には、被災地域がなにに困っていてどういう支援が欲しいのか、待つのではなくプッシュ型支援が必要と考えています。整備局の立場での「気付き」による地域支援の強化をはかってまいります。

また、通常業務に埋没しがちな災害対応業務(備え)を「見える化」することで、職員の防災意識の向上、ひいては防災力の底上げをはかりたいと考えています。

防災エキスパートの皆様には、改めて災害対応等へのご理解・ご協力をお願いし、さらなる連携の充実をはかってまいりたいと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。



【災害対策本部対応状況】

「災害等の相互応援に関する協定」 締結による 発災時等の対応の迅速化と連携深化

～東北地方整備局の通信ネットワークを最大限活用し、災害情報等の共有化を加速～

東北地方整備局 防災グループ

平成31年3月25日に、東北地方における関係機関の長による初めての包括的な協定として、東北6県（青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県）、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支社及び東北地方整備局において、『東北地方における災害等の相互応援に関する協定』を締結いたしました。

昨今、自然災害の激甚化・頻発化が強まる傾向にあり、昨年度は大阪北部地震、平成30年度7月豪雨、北海道胆振東部地震など、全国で甚大な被害が発生したところです。

このようななかで、発災時等の迅速な初動対応や関係機関の連携の深化など、危機管理体制の強化が必要となっています。

一方、ICT (Information and Communication Technology) の発展にともなう通信手段の充実により、リアルタイムな情報の発信や初動時の意思決定に重要となる画像情報の共有が可能となりました。

この協定では、火山災害・林野火災・鳥インフルエンザなど、今まで含まれていなかった災害等を相互応援の対象として拡大するとともに、東北地方整備局の通信ネットワークや画像情報等を最大限に活用した災害情報等の発信・共有化により、発災時等の迅速かつ的確な対応と関係機関相互の連携の深化を目指しています。

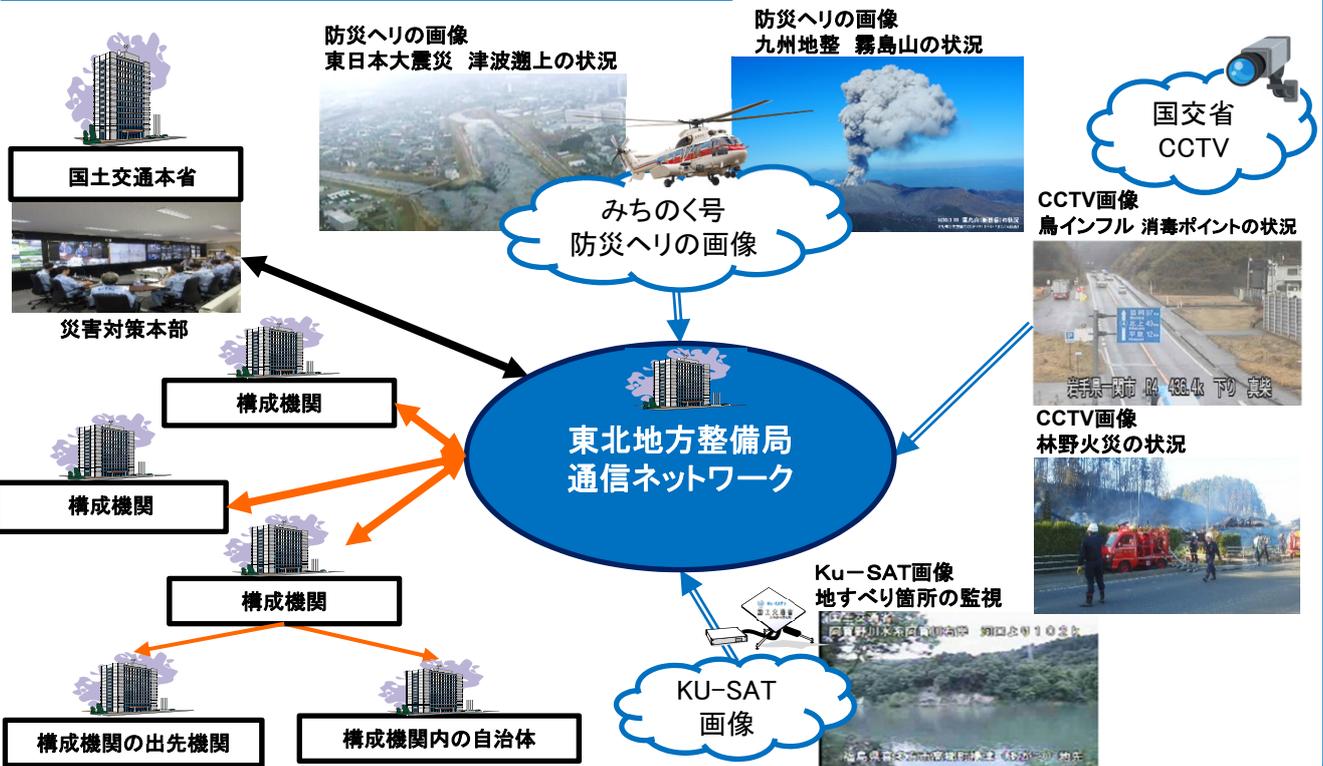
『災害等の相互応援に関する協定』 (関係機関の長との“協定”で対象とする範囲)

国土交通省所管施設の被災
(現行の部長級“申合せ”による範囲)

河川、海岸、砂防
道路、港湾の災害等

- ・ 火山災害
- ・ 林野火災
- ・ 鳥インフルエンザ
等

災害情報等の発信・共有化のイメージ



なお、本協定に基づき、平成31年4月9日に発生した林野火災におきまして、陸上自衛隊のヘリ画像を東北地方整備局経由で中継し、福島県及び郡山市へ配信しました。

令和元年度 防災エキスパート体制

平成8年に発足した「防災エキスパート制度」も今年で24年目を迎え、現在の登録会員数は、523名となりました。

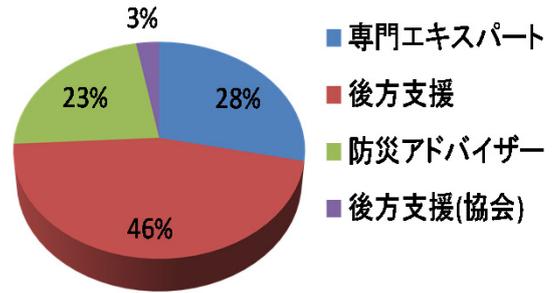
会員の皆様には、行政機関との連携を図りながら、支援活動にご協力いただき昨年度は、災害時延べ16名、平常時延べ378名の計394名が活動を行いました。

※平成31年4月1日現在

【登録県別内訳】

	支援分野				計
	専門エキスパート	後方支援	防災アドバイザー	後方支援(協会)	
青森	10	18	3	0	29
岩手	22	26	14	3	56
仙台	83	126	73	9	263
秋田	21	32	14	1	55
山形	26	45	19	2	76
福島	7	25	14	2	44
計	169	272	137	17	523

【支援分野別登録状況】



※複数県登録及び令和元年度分の新規登録者は含まない。

※令和元年度の新規会員については、次号でご紹介いたします。

平成31年度 1月～3月 防災エキスパート活動状況

平成31年1月～平成31年3月は、平常時22名の防災エキスパートの方々に活動していただいております。

平常時

県別	活動月	活動内容	活動場所	出勤人数	備考
青森	2月	全国防災セミナー	全国防災協会	1	
岩手	2月	全国防災セミナー	全国防災協会	1	
宮城	2月	全国防災セミナー	全国防災協会	1	
秋田	2月	全国防災セミナー	全国防災協会	1	
	3月	平成30年度 雄物川上流河川維持管理計画検討会	湯沢河川国道事務所	2	
山形	2月	全国防災セミナー	全国防災協会	1	
福島	2月	全国防災セミナー	全国防災協会	1	
		吾妻山火山噴火対応防災講習会	福島河川国道事務所	12	
	3月	堤防調査	福島河川国道事務所	2	
1月～3月 平常時活動			合計	22	人・日

防災体制の強化を図るため「防災技術部」を新設

平成31年4月1日付けで、本所に防災技術部を新設しました。

これまで、防災エキスパート業務を主体とした防災支援業務については、河川技術部が所掌していましたが、①首都圏直下型地震等の大規模地震への広域支援、②東北地方整備局の防災体制強化(防災グループ設置)、③防災エキスパートの技術力と伝承体制の強化等の対応が求められていることから、防災に特化した組織体制の強化を図るものです。

今後、整備局とのなお一層の連携、防災エキスパート会員との情報共有等を充実させて参りますので、皆様のご協力をお願いします。

第2回 防災活動支援検討会

平成31年4月17日(水) 当協会3F会議室において、第2回防災活動支援検討会を実施しました。今回は東北地方整備局から成田秋義総括防災調整官、佐藤真司防災管理官も参加していただき、防災体制の強化や防災対応の現状と課題について情報提供をいただきました。

◎検討会の内容

河川・道路に携わる職員の減少、激甚化する災害、今後想定される首都圏直下型地震や南海トラフ地震等の大規模災害の発生に備え、防災エキスパートの活動内容・体制等の再構築が必要となっている。

このため、広域支援も含めた組織体制の構築やTEC-FORCEとの連携、さらに所属企業との連携、活動時における身分保障等について、具体的な活動計画「大規模地震を想定した広域支援活動計画(案)」を作成するため、以下の内容について意見交換会を実施しました。

- ①広域支援体制について
- ②広域支援規模の想定について
- ③防災エキスパートの活動と所属会社との協力体制について
- ④広域支援活動計画(案)について

今後は、各所属会社との協定や身分保障等、事前準備として派遣候補者の選定や具体的な活動マニュアルを検討することとしました。

次回は令和元年7月下旬に第3回防災活動支援検討会を開催する予定となっております。



▲ 4.17 第二回防災活動支援検討会

阿武隈川上流総合水防演習

水防演習では、水防の重要性と水防に関する基本的な考え方の普及を目的として、また、東北地方太平洋沖地震を踏まえた地震災害を想定した国・県・市町村及び関係機関の連携による訓練が実施されており、防災エキスパートも毎年参加しております。

令和元年度では、福島県郡山市富久山を会場として「阿武隈川上流総合水防演習」を実施しますので、是非、ご参加ください。

高めよう！防災意識
5月は水防月間です

阿武隈川改修100年

洪水の脅威から、この街、この命を守るために。

入場無料

阿武隈川上流総合水防演習

日時 令和元年**5.26**日 8:30~12:00

場所 郡山市 [本会場] ① 富久山河川敷 [サテライト会場] ② 郡山駅 西口広場 (9:00~) ③ ショッピングモールフェスタ

主な実施内容

- 阿武隈川流域市町村水防団による水防工法演習**
 - 【川裏溝水対策】
 - 月の輪工 ●釜除工
 - 【洗濯・決壊防止】
 - 木杭工 ●シート張り工
 - 【越水防止】
 - 填土のう工
- 地域住民及び関係機関参加訓練**
 - 住民の皆さんによる避難訓練
 - テックフォースによる支援活動訓練
 - 消防・警察・自衛隊による救助救護訓練
 - 指定自治体・企業による支援物資輸送訓練
- 東北水防技術競技大会**
 - 東北8県代表水防団による、水防工法技術競技大会です。
 - 実施工法**
 - シート張り工
 - 月の輪工

タイムラインに基づいた阿武隈川流域市町村水防団による、阿武隈川上流総合水防演習です。万一の水害に対応できる訓練の効果を高める目的に、ぜひご参加ください！

同時開催 防災展
9:00~

- 阿武隈川の水害パネル展示 ①②③
- 防災展覧会 ①②③
- 水防工法体験コーナー ①②③
- 水防対策の準備・確認 展示コーナー ①
- 参加機関による活動紹介 ①②③ ほか

※詳細には参加内容が変更となる場合があります。ご了承ください。

会場案内図

国土交通省 川の防災情報 スマホ版

一緒に地域のために活動してみませんか？ 消防(休)団員募集中！ 消防団に関する詳しい情報は……<http://www.fdma.go.jp/syobodan>

主催 阿武隈川流域23市町村、福島県、国土交通省 東北地方整備局

お問い合わせ 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字平36 TEL:024-548-4931(代)

編集後記

昨年度は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震などの自然災害が多発した一年でありました。東北地方では、豪雨及び洪水対応として16名の方に活動していただいております。また、災害の有無に関わらず、平常時の活動には378名の方にご活躍いただいております。

今年度も引き続き、皆様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

防災エキスパート事務局
(東北地域づくり協会 防災技術部)
TEL:022-268-4611
FAX:022-227-6344
E-mail:bousaiex@kyokai.or.jp